

平成25年度 市民協働型まちづくり事業補助金事業提案説明会次第  
御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金事業提案説明会・審査会

日 時：平成25年6月9日（日）10：00～16：00

場 所：市民会館 第7会議室

参加委員：委員14名

（渡邊会長・山崎副会長・湯山副会長・飯田・井上・勝又・小宮山（な）・  
小宮山（洋）・篠川・砂山・滝口・日吉・村松・渡邊（茂））

アドバイザー1名（牛山教授）

合計15名

事務局：鈴木課長・梶統括・鈴木主事（市民協働課）

1 開会 10：00

2 会長あいさつ

3 市民協働型まちづくり事業提案説明 10：05～12：20

事業計画書に基づき、市民提案部門応募7団体より事業説明が行われた。  
各団体説明後の主な質疑は下記のとおり。

事業名：元気いっぱい おかみさん市

団 体：御殿場おかみさん会

委員：昨年度は申請段階では協働の相手方に都市整備課があった。今回は申請段階で商工観光課のみであるが、1課で大丈夫か。 今後は自主体制の確立・整備が求められるが、現段階での問題点や具体策はあるか。

団体：昨年申請段階では商店街でのイベント開催は都市整備課が必要という認識があったが、協議の中で県や警察との絡みがあった。都市整備課とのやり取りは規模的に協働という内容ではなかったもので、手続きは行っていたが相手方としては省いた。出演団体の着替え場所をもっとすっきりさせたり、地元商店街の出店が少ないことが課題として挙げられ、今後も問題点の共有を図りたい。

委員：火力演習の日に合わせて開催とあるが、火力演習は市外の方角けなので、市民向けか市外の人向けかどっちつかずな点がある。市民向けなら駅から遠い場所でやるなどの工夫が欲しい。

団体：元々湯沢中心でやっていたイベント。市内外のお客さんを招きたい。

## 地域ねこ活動事業

団体：地域ねこ活動の会

委員：ねこの糞害や鳴き声被害のそもそもの原因は人間。避妊去勢をすることはもちろんだが、えさを与える人などのモラル啓発もしてほしい。全額を補助金で賄うつもりだが、3年たった後はどうするのか。手術を実施したねこの管理はどうしているのか。

団体：エサの時間や量を考え、短時間で対応してもらうようにする。全体頭数の把握もできていない。その都度考えながら活動したい。去年は66頭捕獲した。駅の富士山口を中心に活動した。視察して次の活動場所を決めたい。手術が終わったねこは耳をV字にカットしているのでわかる。

委員：成果をPRしてほしい。他地域からの要望があった場合など、次のステップが必要となった時どのような対応をするつもりか。

団体：できるだけ対応したい。活動は以前新聞にも載った。広報も進めたい。

## 第1回富士山アートフェスティバル 御殿場市富士山世界文化遺産登録記念行事

団体：NPO ありがとう ふじさん

委員：校歌の取り入れがよい。長期的にやってもらいたい。

団体：子ども達も親も喜んでいる。長期的にやっていきたい。

委員：今年度は御殿場市民を対象にするようだが、来年度以降は他市の人々も巻き込んでいくのか。

団体：はい。

委員：富士山があっても受け入れ体制や案内ができていないとためなので、そのあたりもわかりやすい方法でお願いしたい。

団体：今後は外に向かって情報を発信していきたい。

## 今こそ”二宮金次郎”ルネッサンス

団体：NPO 法人富士賛会議

委員：なぜ活動を始めて3年目に補助金申請したのか。

団体：過去2年間は会の内部の変遷もあり、内部で勉強をされていて、補助金事業としてやりたくてもやれなかった。3年目はどうしようかと検討していた。

委員：イベントの規模を教えてほしい。

団体：会場は報徳会館で、200人ぐらいを想定している。

委員：現地調査費やパンフ作製費が高すぎるように思える。

団体：文献を読むだけでは不足に感じる。小田原など他市へも調査に行きたい。  
会員自身を知ることが大切で、市内ももちろんだが全体を見る必要がある。特に調査を中心にやりたい。

委員：事業名の「ルネッサンス」とはどういう意味か。

団体：「復興」や「回顧」の意味。

#### 富士山登山者に向けてのおもてなし観光事業

団体：NPO 富士山コミュニティ

委員：足洗い場の水道はどうするのか。

団体：商工観光課と相談し、都市整備課に散水栓、市内水道業者の協力を得られた。

委員：外国人に対するガイドとあるが、現段階で対応言語はどのようなものがあるか。

団体：英語・中国語・韓国語。ポルトガル語、スペイン語を求めている。また、ヒンズー語の申し出があった。

委員：9日間だけの事業だが、本来的にはずっと続けてほしい。足洗い場や更衣室だけでも長期的にできないか。

団体：マンパワーが必要。今年度はまずモデルケースとして、課題を発見していきたい。今後は要望に合わせ対応したい。

委員：次につなげるために数字をしっかりとらえてほしい。

団体：アンケートなどで把握する。

#### 見直そう御殿場の椿

団体：御殿場椿の会

委員：椿は害虫が多いと聞くが、メンテナンスはどうするのか。

団体：幸いなことに椿の主な害虫であるドクガが御殿場では付かない。

#### 発達障害児・者とその家族に対する療育相談会事業

団体：NPO 法人発達支援センター御殿場教室

委員：この事業は周知や協働が大切。発達障害で実際に悩み始めるのは小学生ぐらいになってからなので、小学校とも協働できれば。学校での全員への配布物の中に入れられれば全員が必ず見る。昨年度の映画の上映会も知っていれば見たかったという声を聞いた。

団体：課題として受け止める。

4 講評

色々な分野における提案があって良かった。市の方向性に即した創意工夫が見られた。税金を使う大きな意義があると感じられた。課題としては補助金事業として終了したあとの自主財源の確保。評価、見直しが大切なのでP D C Aサイクルを意識した活動を心がけてほしい。また、成果をいかに公表するのか留意してほしい。

5 閉会 12：20

開始前に事務局より予算状況について説明。今年度は申請件数が多く申請満額での交付が難しい旨を説明した。

審査の中で出た主な意見は次のとおり。

#### はじめの一步部門

審査用紙集計結果を公表し、書類により審査が行われた。

- ・「はなかつみ」は図書館を拠点として継続的に取り組んでほしい。
- ・「はなかつみ」に関し、お話し会是要請のあった日に開催となっているが、自主的に積極的に取り組んでほしい。
- ・「ホシガラスの会」と協働を行うにあたり、富士山関係の団体が他にも多数ある中で、この協働事業内容のみが市の考え方ととらえられては困るのでその旨を伝えてほしい。

はじめの一步の趣旨や5万という金額を考慮し、特に異論がなかったので3団体とも満額で交付決定。

#### 市民提案部門

審査用紙集計結果を公表し、書類とプレゼンにより審査が行われた。

##### （富士賛会議について）

- ・協賛金については、事務局と団体で話し合い、問題のないよう処理してほしい。
- ・補助金を出す必要があるかと言われれば不明。市民の税金を出さなければならないと言われるとそうでもない。
- ・子ども達にも分かるものではなく、講談など全てが大人向けの事業だった。
- ・協賛元と市の協働事業内容を分けるべき。
- ・次につなげる報告書に重きを置いてほしい。報告書を広く市民に公開することを補助の条件として交付したい。

##### （富士山コミュニティについて）

- ・駐車場代に関しては、駅周辺を使う他の団体が項目として申請しておらず、ここで認めると他の団体も認めざるを得ないので慎重に。

##### （ありがとう ふじさんについて）

- ・申請書や添付書類を見ても出演記念品50人の算出根拠が不明。
- ・Tシャツは、終わったのち個人の持ち物または備品になる。

- ・客観的に見て分かるものが必要である。次回はしっかりと明瞭な形で提出していただく必要がある。

（おかみさん会について）

- ・食事代や飲み物代をここまで認めてしまうと、他団体も手を上げる可能性がある。
- ・食事代については来年度以降の要検討事項である。特に、団体の構成員に対する経費は明確にしなければならない。

（発達支援センターについて）

- ・プレゼンの中で2名の講師は団体の方（NPO法人理事）と言っていたので補助金からの支出は認められない。

（椿の会について）

- ・事業計画に合わせて予算を組むべき。
- ・団体の通常活動と補助金対象事業を精査する必要がある。

以上のような意見により、事業内容と照らし合わせて必要経費とそうでない経費を精査し、事業を審査した。

結果、減額等はあったものの応募のあった7団体全てに対し交付決定となった。

（全体の申請額の76%の額を交付決定。）

#### 平成25年度市民協働型まちづくり事業一覧

部門	団体名	事業の名称
市民提案事業	御殿場おかみさん会	元気いっぱい おかみさん市
	地域ねこ活動の会	地域ねこ活動事業
	NPO ありがとう ふじさん	第1回富士山アートフェスティバル 御殿場市富士山世界文化遺産登録記念行事
	NPO 法人富士賛会議	今こそ”二宮金次郎”ルネッサンス
	NPO 富士山コミュニティ	富士山登下山者に向けてのおもてなし観光事業
	御殿場椿の会	見直そう御殿場の椿
	NPO 法人発達支援センター御殿場教室	発達障害児・者とその家族に対する療育相談会事業
はじめの 一歩事業	富士山の森を守る NPO ホシガラスの会	富士山文化遺産登録「記念講演会」
	昔ばなしの会「はなかつみ」	地元の昔ばなしを次世代に伝えよう
	和母塾	～子育て応援～親子の笑顔づくり和母塾

事業の詳細については別ページ「市民協働型まちづくり事業補助金」参照。